

特定医療法人
沖縄徳洲会

<施設概要>

介護老人保健施設

吹田徳洲苑

<病院>9F/10F

入所定員 159名

4人部屋 33室

2人部屋 2室

個室 23室

通所リハビリ 20名

◆ 12月/1月イベントのお知らせ

※第1回「クリスマス会」を12/23(火・祝日)に開催しました。

クリスマス会を当苑リハビリテーション室において開催しました。利用者様ならびにそのご家族の皆さま、そしてボランティアの方を含めて総勢120名程の参加でにぎやかに行われました。

プログラムの最初は総勢14名で構成される吹田市東山田地区のフラダンスの女性グループ「レディス・フルメリア」による見事なフラダンスを披露していただきました。

美しいハワイアンメロディーに乗って優雅に踊っていただき、ダンスとその音楽は私たちのいる空間の空気が一瞬美しく軽くなったという感動を覚えました。

また、それに引き続き金香院長の奥様(啓子様)による「リハビリを兼ねた音楽」のコーナーはとても楽しいひとときでした。

※1月第3週に・・・

通所リハビリの利用者の皆さまと一緒に近くの伊射奈岐神社に初詣でに参ります。



12月23日はクリスマス会でした★

みなさんにケーキのプレゼントです♥
栄養科の田中室長と上田調理師が心を込めて盛り付けをいたしました。



12月25日はクリスマス★メニューとして、みなさんに『ハートのチキンライス』を愛を込めてお届けしました◎♥



12月31日は大きなえび天をそえて『年越しそば』をお届けしました◎★



<老健情報>月刊ニュースレター

第3号

吹田徳洲苑 げんき倶楽部

2015年1月



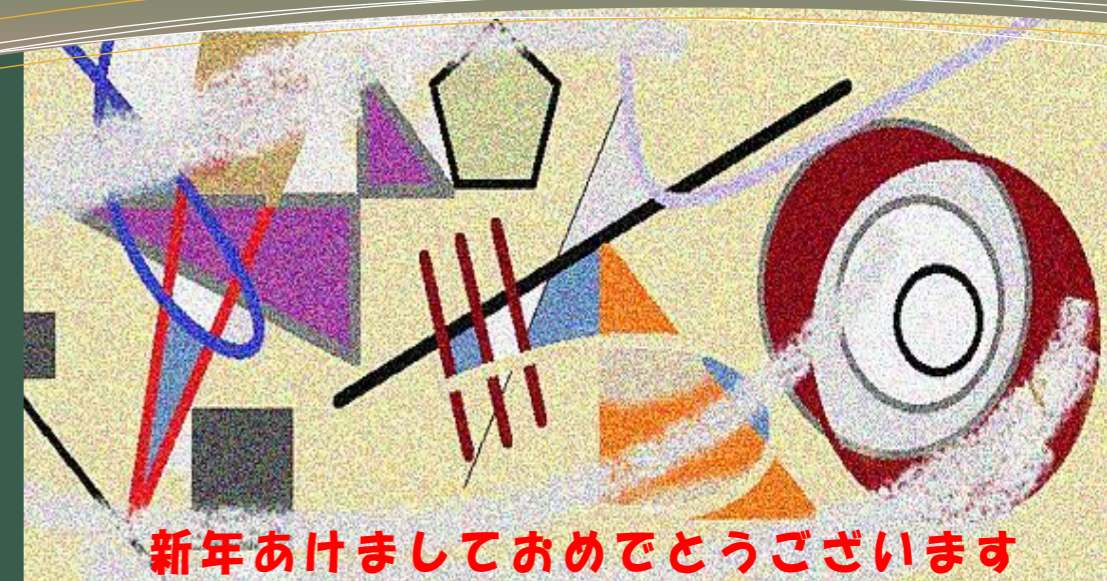
施設長 酒井 敬

<新年の挨拶>

昨年7月の開設より多くの皆様に入所、短期入所、通所リハビリテーションを御利用いただきました。心から御礼申し上げます。職員一同が懸命に医療・介護サービスに努めてまいりましたが、開設より日が浅く、管理運営面では多少ながらご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

本年はさらに地域の皆さまのご期待に応えられる医療介護サービスの向上を目指してまいります。そのために洗練されたケアプラン作成、信頼される医療・介護技術の習得、満足していただける栄養ケア及びリハビリなどチームワークの向上を目指してまいります。

さて、開苑後7月～11月までに延べ188名の入所をいただきました。その内12名の方が誤嚥性肺炎や病状の悪化に伴い、施設階下にある病院で治療を行いました。その際に病院と同一建物に位置することによる対応の迅速さ及び安全性の高さを改めて実感いたしました。今後とも皆様のご支えをお願いします。



新年あけましておめでとうございます

目次

- P.1 施設長挨拶(酒井)/栄養科コメント
- P.2 認知症の方のためのリハビリ
- P.3 らくらく排泄ケア
- P.4 老健行事/クリスマス会の食事メニュー

<介護老人保健施設 吹田徳洲苑>
〒565-0814 大阪府吹田市千里丘西 21-1
TEL06-6878-9100 FAX06-6878-9101
インターネット:「吹田徳洲苑」で検索



元旦には『おせち9点盛り』をお届けしました。

◎多くの方に喜んでいただくことが出来て、栄養科スタッフ一同、大変うれしく思っています。

また、1月7日は『七草がゆ』をお届けしました。

◎これからも季節感・温かみのあるお食事をお届けいたします。

管理栄養士 岩城知津(いわき)



通所リハビリ
作業療法士
並河俊弘(なみかわ)

認知症の方のためのリハビリ

今回から認知症の方のリハビリについて掲載させていただきます。
今回は、すぐにできる簡単な検査と認知症予防のプログラムを紹介します。



1. 認知症の検査

1分間スクリーニング法

(櫻井博文、羽生春夫：認知症の診断—認知症の初期診断、医薬ジャーナル Vol. 48)

◇ 「1分間にできるだけ多くの“動物名”を言って下さい。」

◆ この検査で13個未満の場合は、かかりつけの先生に相談してください。

2. 認知症予防のプログラム

認知症予防のための脳の活性化を図るプログラムはさまざまなものがありますが、大切なことは「楽しく行うこと」です。下記にその一部を紹介いたします。

◆ <運動>適度な運動は認知機能の改善を促すことができるとの報告があります。

◇ 楽しく運動することは、脳のアルツハイマー病変を弱め、記憶を司る海馬の働きを高めることが示されています。

◆ <回想法> 仲間と一緒に昔の遊びや仕事などを語ることで、記憶力やうつ改善に効果があると言われています。

◆ <音読や計算などの学習> 文章の音読や簡単な計算を行うことで脳の活性化が図れると言われています。

◇ 難解な計算問題よりもスラスラ解ける程度の計算のほうが、脳が活発に働くという研究もあります。

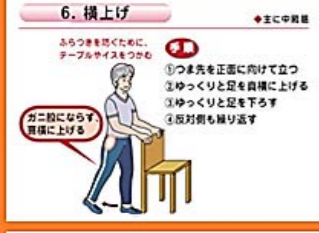
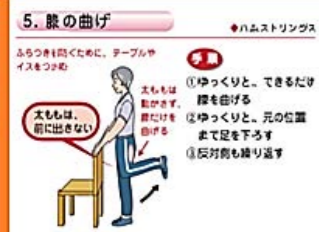
◆ <音楽や絵画などの趣味活動> 仲間と楽しく過ごすなかで、役割を演じ前向きに生きる意欲が湧いてきます。

◇ 老化による脳の病変に廃用(使わないこと)が加わると認知症の発症や進行を早めます。仲間と楽しい時間を共有することによって認知症の症状悪化、「廃用性認知機能低下」について一定の効果が期待されます。

ぜひ、この機会にいろんなことにチャレンジしてみましょう。

◆ 自宅での運動

<初級編>



らくらく排泄ケア

➤ 頑張らない排泄ケア

◆ 介護する人が倒れたら大変、介護する側の体をいたわる

介護するにはベッドの高さを介護する人の身長の高さに合わせると腰への負担が軽くなります。

◆ 人間の自然な動きに逆らわないようにするとラク

お年寄りの体位変換などをする際には「身体本来の動くしくみ」をイメージしながら動かしてみましょう。

◆ 介助はあわてずゆっくりするよう心がける

介助するときは自分が安定することが安全につながります。
一つずつ動きを止めてあわてずに次の動作に移るよう心がけましょう。

◆ 排泄はプライバシーや尊厳にかかわるので、介護される側の気持ちに配慮

オムツや尿パッドを使い始めるときは、必ず本人に話しましょう。
いきなりの使用はおむつはずしの問題行動の原因にもなります。

◆ 製品の役割を理解して適切に使うと効果も期待できる。

おむつを使用する際にはおむつと尿取りパッドを併用(=重ね使い)します。

◆ パンツ型おむつはウエストの伸びが良いものを選ぶ。

パンツ型オムツはウエストが柔らかく大きく伸びるものを選びましょう。

◆ その人にあったサイズの製品を選ぶ。

体のサイズに合わないおむつは尿漏れの原因になります。
購入時にはパッケージに表示されているサイズを確認しましょう。

※平成26年11月19日

医療講演会講演

「在宅介護で使えるおむつ交換のコツ」より



9F北療養棟
(介護福祉士)
小倉浩美(おぐら)

オムツとパッドを
重ねたものです



ここのギャザー
を立てることが
大切です



腰の骨からこぶし一つ分
上になるように置きます



ポイント

